



新北九州空港連絡橋

New Kitakyushu Airport Access Bridge

福岡県 北九州市
Fukuoka Prefectural Govt.; City of Kitakyushu

授賞理由

新北九州空港連絡橋は、新北九州空港の空港島と九州本土を結ぶ橋長2,100mの海上道路橋である。主橋梁部は中央径間210m、両側径間95mの3径間連続のアーチ構造であり、わが国で初めての1本のアーチリブが補剛桁下面で2本に分岐する特殊な構造となっている。アーチ部の吊材にはケーブルが採用されており、断面を長方形から六角形に変化させることでシャープな外観を演出するアーチリブのシルエットをより強調するものとなっている。隣接する高架橋部は耐震性および走行性の向上を図るために、11径間(920m)および10径間(780m)の連続鋼床版箱桁橋とし、反力分散支承を用いることで橋脚の剛性、形状が均一化されている。また、下部工に関しては、洪積地盤に杭を支持させ、支持力推定式を提案し、実杭の鉛直載荷試験で検証した経済的な基礎を実現した。さらに、景観性に関しても、アーチリブをブライトグリーン、桁部をホワイトオパール色とすることで、

周辺環境との調和をはかりつつ「あざやか」で「やわらかな」印象を与えるものとなっている。また、橋脚は鋼管矢板基礎にY型の八面体断面とすることで、スレンダーな外観と上部構造を力強く支える印象を与えるものとなっている。以上より、本橋は新北九州空港へのゲートブリッジとして、構造、工法、景観に特色を有することから、土木学会田中賞に値するものと認められた。

田中賞
Tanaka Award

(作品部門)